

東日本大震災における原子力発電所の事故による 被害を受けられた方へ 秋田県・にかほ市からのお知らせ

※地方税の軽減措置等を受けられます。軽減措置を受けるためには、手続きが必要となる場合がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

※警戒区域・計画的避難区域・緊急時避難準備区域等のうち市町村長が指定する区域内の土地や家屋には、平成23年度分の固定資産税・都市計画税は課されません。また、特段の手続きは不要です。

問合せ先 秋田県税務課 018-860-1123 にかほ市税務課 0184-43-7505

	税制上の措置	概要
共通	減免措置	被害にあわれた方の状況に応じて、税の減免を受けることができます。
県税	不動産取得税の軽減措置	警戒区域内にあった家屋やその敷地に代わる家屋・土地を取得した場合、不動産取得税の軽減措置を受けることができます。
	自動車税等の非課税措置	警戒区域内にあった自動車で、永久抹消登録がなされた自動車には、平成23年3月11日にさかのぼって自動車税は課されません。また、警戒区域内にあった自動車で永久抹消登録等がなされたものに代わる自動車を取得した場合、自動車取得税及び平成25年度分までの自動車税が非課税となります。
市税	固定資産税の軽減措置	警戒区域内にあった住宅用地や家屋に代わる土地・家屋を取得した場合、固定資産税の軽減措置を受けることができます。
	軽自動車税の非課税措置	警戒区域内にあった軽自動車で、自動車検査証の返納等がなされた軽自動車には、平成23年3月11日にさかのぼって軽自動車税は課されません。また、警戒区域内にあった軽自動車で永久抹消登録等がなされたものに代わる軽自動車を取得した場合、平成25年度分までの軽自動車税が非課税となります。

『にかほ市地域公共交通検討委員会』委員を募集！

募集要項

募集人員 2名

対象 市内に住所を有する満18歳以上の方

応募方法 郵便、ファクス、電子メールにより

①住所②氏名(ふりがな) ③年齢④性別⑤職業⑥電話番号を記入のうえ応募

※応募用紙は総務部総務課、仁賀保・金浦各Sセンターに備え付けています。

募集期間 9月15日(木)～9月26日(月)

任期 委嘱の日から市長への報告の日まで

報酬 報酬はありませんが、報償費を支給

会議 計2～3回(予定)

内容 にかほ市の地域公共交通についての検討

(新たな交通体系や代替輸送の見直しの検討)

応募・問合せ先 〒018-0192 にかほ市象潟町字浜ノ田1番地
総務部総務課総務行政改革班
☎43-7507 FAX43-5707
Eメール soumu@city.nikaho.lg.jp

にかほ市では、路線バスなどの公共交通のあり方を検討するため「にかほ市地域公共交通検討委員会」を設置しています。にかほ市の地域公共交通について検討するため、次の要項により委員を追加公募します。あなたの意見を地域公共交通に生かしてみませんか？

みんなの声を

『つながる』未来へ



地道な活動が 実を結んだと思いたい

TDK株秋田総務部
総務広報課長
小幡正則氏

日沿道の全線開通に向けて、大きく前進ということですか…。象潟一遊佐間がつながり、全線開通することは、弊社グループ企業を含め当地域の企業にとっては大きなプラスです。過去、国交省へ要望書を提出したり、ヒアリングを受けたりと、日沿道の必要性を訴えてきました。これら、にかほ市と一緒にやってきた、地道な活動が実を結んだと思いたい。ほんの数年前には思いもしなかったことで、驚きもありますが、まずは喜ぶたい。今後も象潟一遊佐間の事業着手・完成のため、継続して活動していきます。労を惜しむことはしません。早くつながってくれるのなら、いくらでも声を上げ、期成同盟会の会員としても市をバックアップしていきます。

開通までに にかほの魅力を再構築

一般社団法人
にかほ市観光協会会長
佐々木一夫氏



日沿道の整備は、にかほへのアクセスが改善され、交流人口の増加が見込まれる点では歓迎します。一方で、素通り型の観光客が増え、市外へ人が流れることにより、地域の賑わいが失われることも考えられます。今こそ、にかほの素晴らしい自然景観や歴史文化、海や山の四季折々の豊富な食材を活かし磨きをかけ、通過型から滞在型観光地への転換を図るときと考えます。10月からJRのキャンペーン(DC)で秋田県がターゲットになっており、この機会を絶好のチャンスと捉え、充実を図りたい。「おもてなし」の体制、「きれいな街づくり」など、日沿道全線開通までに、にかほの魅力を再構築し観光地としてバージョンアップしなければいけない。危機感を持って臨みます。



高速道路は にかほ市の「生命線」

にかほ市長
横山忠長

沿線住民の熱意と長年の要望活動が実り、象潟一遊佐間の開通のめどが立ちました。近い将来、本市の周辺地域の日本海側で、震度5弱以上の地震が発生する確率は非常に高いと予測されています。高速道路は、特色あるまちづくりや経済の「要」であり、市民の安全・安心の核となる「生命線」です。今後は、「命の道＝日沿道」の早期事業化に向けて、国策の最重要課題として取り組まれるよう、強く要望してまいります。

日本海沿岸東北自動車道 山形・秋田県境区間建設促進大会

日時 10月2日(日)
開演 13時30分 (開場 13時00分)
会場 象潟シーサイドホテル

基調講演

講師 西木正明氏(作家)

演題 「世界の道を走って」



※申込不要です。この機会に市民の皆さん、
どうぞお気軽に参加ください。

主催 日本海沿岸東北自動車道
山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会

問合せ先 企画情報課 ☎43-7510